昭和百四十一年

—希望にみちた未来像—

水木しげる

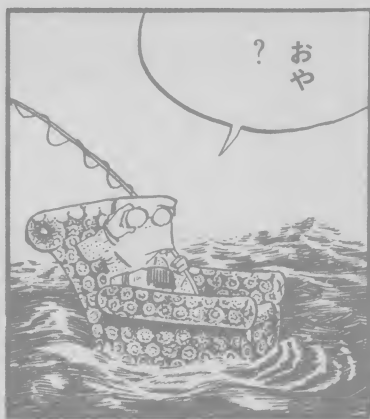
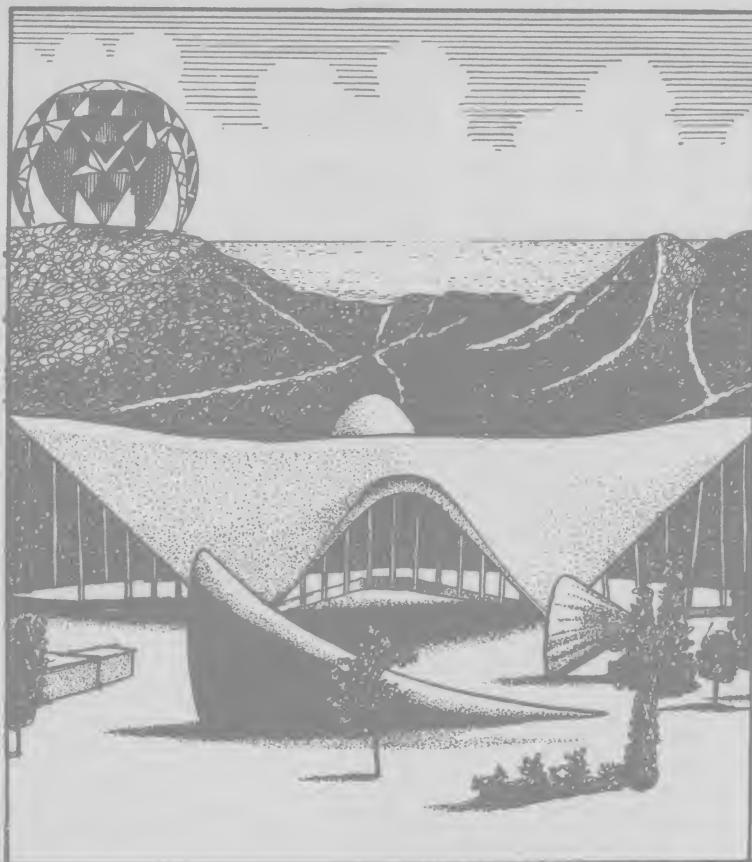
おや？

ちょっと竜宮へいっている間にすっかり変ったな

かめよありがとう
？

わしは昭和四十一年助けた亀に連れられて竜宮城に行ったのだが……

いま昭和何年頃だ
昭和百四十一年だよ

すると百年も乙姫様といちゃついていたわけか
こりゃなんだ

東京に近づくにつれて木という木はなくへんな彫刻が木の代用においてあった
おそらくはげしい排気ガスのために植物は亡びてしまったのだろう

やがて百年後の
東京に着いた

チラホラする
緑の木はすべて
ビニール製だった

町には象のように大きな人や猿のように小さい人たちが無表情に歩いていた……

あっ
美人だ！

二万円
はあ？

美人をみれば快感代として二万円払うことは紳士のエチケットとして法律で決められてるじゃない

知らなかったものですから八千円にまけといて

すべてのものがお金で換算されるようになったんだなあ
おかげで竜宮のヘソクリも心細くなってきた

わしの子孫をおとずれていそうろうするかな

やがて子孫の
アパートを
みつけた
ごめん
わし
じゃ
お前らの
祖先
じゃ
?。
そういえば
骨格が似
てるな
昔の人は
大きかっ
たんだな
おまえら
どうし
て小さ
くなっ
たんだ
それは歴史的
に申し上げな
ければわかり
ません
が
我々庶民
は昔　団地
サイズの中
でくらして
いたのです
うん
わしも昔
団地の
やっかい
になっと
った
それが
新団地サ
イズと
なり
なんだその
新団地サ
イズとい
うのは
部屋の寸法
がより小さく
なったのです

町でみかけた象のような人は
上流階級の人だった 彼らは
しだいに大きな家に住むよう
になって だんだん巨大なサ
イズにぼうちょうしてきたの
だった

なるほど
そういう経済的理由
からも庶民は
小さくなった
のだな……
昭和四十年ごろ
と違いまして
いまはきびしい
ですからね

昨日も議会で
人命よりも
お金の方が
尊いという
法律が可決
されましたからね

ひでえ
世の中に
なってん
なあ

厚生省では
人肉ソーセージの
製造を許可し
ているくらい
ですからねえ

わしゃ
これで
失礼
する

こうして
みると
あの百年
前……
あの
生活に
あえいで
いた
昭和四十年
ごろが……

日本人にとって一番
幸福な時期だった
とは気づかな
かったなあ……

完